

令和6年度食育に関する意識調査 ー主な調査結果ー

◇ 食育への関心度

- ・食育に「関心がある」* 県民は、**7割弱（67.4%）**

目標値：90%以上

*「関心がある（24.9%）」と「どちらかといえば関心がある（42.5%）」の合計

※前回調査（平成30年度）の78.0%から減少

◇ 朝食を食べる頻度

- ・朝食を「ほとんど毎日食べる」県民は、**7割（70.1%）**

※前回調査（平成30年度）の84.7%から減少

- ・若い世代の**約2割（19.1%）**がほとんど朝食を食べない

目標値：10%以下

*若い世代（20～39歳）

※前回調査（平成30年度）の8.3%から増加

◇ 朝食に必要なこと

- ・朝食を食べるために必要なこと*は、「朝、食欲があること（37.6%）」、「自分で朝食を用意する手間がかからないこと（36.5%）」、「朝早く起きられること（36.5%）」の順であった。

*「朝食を食べる頻度」の間で「週に4～5日食べる」、「週に2～3日食べる」、「ほとんど食べない」と回答した者が対象

◇ 主食・主菜・副菜を揃えて食べる頻度

- ・主食・主菜・副菜を揃えた食事を「1日2回以上、ほとんど毎日食べている」

県民は、**約4割（42.2%）**

※前回調査（平成30年度）の39.4%から増加

目標値：50%以上

- ・若い世代では、**約3割（32.7%）**

※前回調査（平成30年度）の27.6%から増加

目標値：40%以上

◇ 共食（きょうしょく）の頻度

- ・朝食または夕食を家族や友人と食事をする「共食の回数」は、**約8回/週（7.6回）**

※前回調査（平成30年度）の9.6回/週から減少。

目標値：11回以上/週

◇ 郷土料理や伝統料理などの認知度

- ・郷土料理や伝統料理などを「知っている」* 県民は、**約4割（41.9%）**

*「よく知っている（6.8%）」と「知っている（35.1%）」の合計

※前回調査（平成30年度）の47.2%から減少

目標値：60%以上

- ・若い世代では、**約4割（38.4%）**

※前回調査（平成30年度）の38.5%とほぼ同様

- ・「よく知っている」「20歳代」では、**約1割（12.0%）**

※前回調査（平成30年度）の2.6%から増加

目標値：50%以上

◇ 災害時の備えの状況

- ・非常時の食料を「用意している」県民は、**約4割（38.6%）**

※前回調査（平成30年度）の34.1%から増加

- ・「用意している」「20歳代」では、**約4割（36.0%）**

※前回調査（平成30年度）の29.5%から増加